

第5学年 社会科学学習指導案

日時 2018年11月8日(木)

対象 5年1組(33名)

授業者 文京区立本郷小学校 主任教諭 寺本 大一

1 小単元名 「情報を活用して発展する販売産業」(8時間)

2 小単元に目標と観点別評価規準

(1) 小単元の目標

情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。

産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめることができる

(2) 小単元の観点別評価規準

評価の観点	評価規準	学習過程のどこで
社会的事象についての 関心・意欲・態度	①販売等の産業と情報との関わりについて、主体的に学習問題を解決しようとしている。 ②情報を活用した産業の発展に関心をもつとともに、適切な情報を見極め、生活の中で情報を効果的に活用していこうとする。	①つかむ ⑧いかす
社会的な 思考・判断・表現	①販売に関する産業について、情報の種類や情報の活用の仕方等に着目して産業における情報活用の状況を捉えている。 ②情報を生かして発展する産業と国民生活を関連付けてその役割について考え、表現している。 ③産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめている。	③調べる ⑥まとめる ⑧いかす
観察・資料活用の 技能	①資料を活用して、多様で大量の情報を情報通信技術で瞬時に収集・発信して活用することで、販売等の産業が変化していることを読み取っている。 ②聞き取り調査をしたり各種の資料やインターネットを使って調べたりしたことを関連図にまとめている。	②～⑤ 調べる ⑥まとめる
社会的事象についての 知識・理解	①多様で大量の情報を情報通信技術で瞬時に収集・発信して活用することで、販売等の産業が変化し発展していることについて理解している。 ②国民がコンピュータや携帯電話などの情報通信機器を利用することにより、いつでも、どこでも様々なサービスを楽しむことができ、生活が向上していることなどを基に、情報や情報通信技術を活用する販売等の産業の役割について理解している。	②～⑤ 調べる ⑦いかす

3 小単元について

(1) 学習指導要領との関連

本小単元は、現行学習指導要領第5学年内容(4)のイに、新学習指導要領第5学年(4)のアの(イ)の(ウ)及びイの(イ)を加えて設定している。ここでは、情報ネットワークを活用している事例として販売産業を事例として取り上げ、さらに、ビッグデータを収集・分析・活用することを通して販売などの産業が発展し、国民生活の向上に役立っていることを追究するとともに、産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について自分の考えをまとめる学習展開を考えた。

<p>【現行学習指導要領第5学年】 内容(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。 ア 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり 内容の取扱(4)イ イについては、情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている教育、福祉、医療、防災などの中から選択して取り上げることを。</p>	<p>【新学習指導要領第5学年】 内容(4) 我が国の産業と情報との関わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (7) 放送、新聞などの産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解すること。 (イ) 大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解すること。 (7) 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (7) 情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。 (イ) 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること 内容の取扱(4)イ アの(イ)及びイの(イ)については、情報や情報技術を活用して発展している販売、運輸、観光、医療、福祉などに関わる産業の中から選択して取り上げることを。その際、産業と国民の立場から多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。</p>
---	--

(2) 教材について

本小単元の学習を通して「大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させている」という社会的事象の意味を考えられるようにしていく。まず、事例を選択するに当たって、新学習指導要領の内容から以下の4つの観点に基づき分析し選択した。

	事 例	大量の情報を収集 位置・検索・販売・気象	情報通信技術の活用 AI・IoT・VR・AR	第3次産業の発展 売り上げ・サービスの質・利便性	情報の発信や 国民生活との関連
販 売 業	S社	ビックデータ POS レジシステム Nカード Sアプリ プレミアム向上 委員会	ストアコンピュータ 情報活用システム 野村総合研究所	コンビニAの売り場写真 コンビニA店舗数の増加 Sプレミアムゴールドの売り上げ向上	テレビCM コンビニA HP コンビニAの文京 区分布図 Nカード
	コンビニグループ会社	POS レジシステム Nカード 各会社アプリ 通信販売7HP	各社本部マーケティング部 N総合研究所	ネットとリアルの融合(郵送・店舗受け取りの実現) 通信販売利用者数向上 通信販売売り上げ向上	通信販売HP 通信販売アプリ
	コンビニグループ会社・データラボ	コンビニグループ会社以外の異業種企業計11社より顧客行動	行動履歴分析 新たなニーズの開拓	新規サービスの開拓 アプリ・ネットサービスの向上	各アプリ

本小単元で取り上げる主な教材は「大量の情報の収集の様子」「情報を用い、産業の発展の変化とそれに伴い国民生活の利便性の向上の様子」を取り上げることとした。

①POS レジシステムとNカード

コンビニAは、大量の情報をPOSレジシステムとNカードから主に収集している。POSレジシステムからは、バーコードを読み取ることで「どの商品がいつ、いくらで、いくつ、どのような組み合わせで販売したのか」を把握できる。さらには、天候や客層ボタンの入力により、どのような日にどのような年齢帯の客が利用するかまで把握できるシステムになっている。Nカードは、約5300万人が会員となっており、どのような人がどの商品をいつ、どこで、いくつ購入したか、また購入頻度についても把握できるシステムになっている。これらの情報を本社のホストコンピュータで管理し、商品発注等に活用している。また、アンケート調査やインタビュー調査など、アナログな情報収集も昔から引き続き行い、情報システムと掛け合わせながら商品開発等にも活かされている。

②Sプレミアムゴールドの開発

近年、各コンビニエンスストアやスーパーマーケットで、PB商品(プライベート商品)が開発され、販売されている。コンビニAもその一つである。しかし、コンビニAは、より質の高い商品の開発を求め、コンビニA社として独自の商品として2007年5月にSプレミアムを誕生させた。その後、開発を続け2010年9月にSプレミアムのワンランク上のSゴールドを誕生させた。コンビニA社では、これまでにないコンセプトに基づいて開発した『Sプレミアムゴールド』を、圧倒的に品質を高めた新しいPB商品として展開することで、より幅広い客層、多様なニーズに対応するとともに、新たなマーケットを開拓している。また、Sプレミアム向上委員会をつくり常に利用者の声を聞きながら、商品をリニューアルし続けている。

③通信販売

リアル(店舗販売)とネット(ネット販売)の融合を実現させたものが通信販売である。コンビニAを含め、スーパーB、百貨店C、ファミリーレストランDなど計7社でつくられている。パソコンやスマートフォンを利用したり、電話で店舗に注文したりすることで、商品を購入できるサービスである。また、ネットで購入し、近くのコンビニAで受け取ることもできれば、自宅に配送もしてくれる。自分の都合に応じて買い物ができるため、買い物に行けない高齢者や子育てで忙しく買い物に行けない主婦や一人暮らしで家を知られたくない女性など、様々なニーズにあったサービスが受けられる。

(3) 児童の実態について

4 研究主題との関連

よりよい社会について考えようとする子供の育成
～国土や産業の姿を追究し、社会の未来について考えようとする子供を育てる指導の工夫～

(1) 研究主題について

本小单元では、5年部会の副主題を次のように捉えた。

①国土や産業の姿を追究している。

国土や産業の姿を追究するとは、子供が資料から我が国の情報産業（本小单元では販売業）の様子を的確にとらえ、それをもとに目に見えない社会的事象相互の関連や意味も含めて理解を深めていることと捉えた。例えば、多様で大量の情報を活用する姿をコンビニグループ会社の店舗数や売り上げを増やしている商品開発や新サービスの提供を通して捉えさせることで、ビックデータについての理解が深まると考える。

②社会の未来について考えようとする。

本小单元では、「社会の未来について考えようとする」子供の姿を、自分の生活と情報産業とのかかわりを深く意識していなかった子供が、大量の情報を情報通信技術で瞬時に収集・発信して活用されている販売業の取組を学ぶことで、情報産業に対する理解が深まるとともに、これからの情報産業の在り方について、自分とのかかわりを意識して考えるようになることと捉えた。

そこで、本小单元の学習問題に対する自分の考えをまとめた後に、運輸・観光・医療の取組も学ぶことで、「情報を活用して産業が発展することが、私たちの生活の向上につながっていることや、私たちの生活が、大量の情報を分析・活用することに関わる人の働きで成り立っているから、もっと発展して欲しい。」など、自分たち生活の今後を意識した考えが出ることが、児童が社会への未来について考えようしている姿と考える。

さらに、「Nカード」の申込書にある利用契約書について調べることで、わたしたちの情報は、いつの間にか誰かに使われている可能性があることを知り、適切な情報を見極め、生活の中で情報を効果的に活用していこうとする児童も育てていきたい。

本小单元において目指す児童像

- 多様で大量の情報を情報通信技術で瞬時に収集・発信して活用することで、販売等の産業が変化し発展していること、国民がコンピュータや携帯電話などの情報通信機器を利用することにより、いつでも、どこでも様々なサービスを享受でき、生活が向上していることなどを基に、情報や情報通信技術を活用する販売等の産業の役割について理解するとともに、各種資料を通して情報を適切に調べまとめる児童。
- 販売に関する産業について、情報の種類や情報の活用の仕方等に着目して産業における情報活用の状況を捉え、その働きを考え表現したり、産業と国民の立場などから多角的に考えて、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について、自分の考えを表現したりする児童。
- 社会的事象から学習問題を見出し、意欲的に追究して解決しようとするとともに、適切な情報を見極め、生活の中で情報を効果的に活用していこうとする児童。

(2) 研究内容について

本小単元では、以下の3点に焦点を当てて授業作りを進めた。

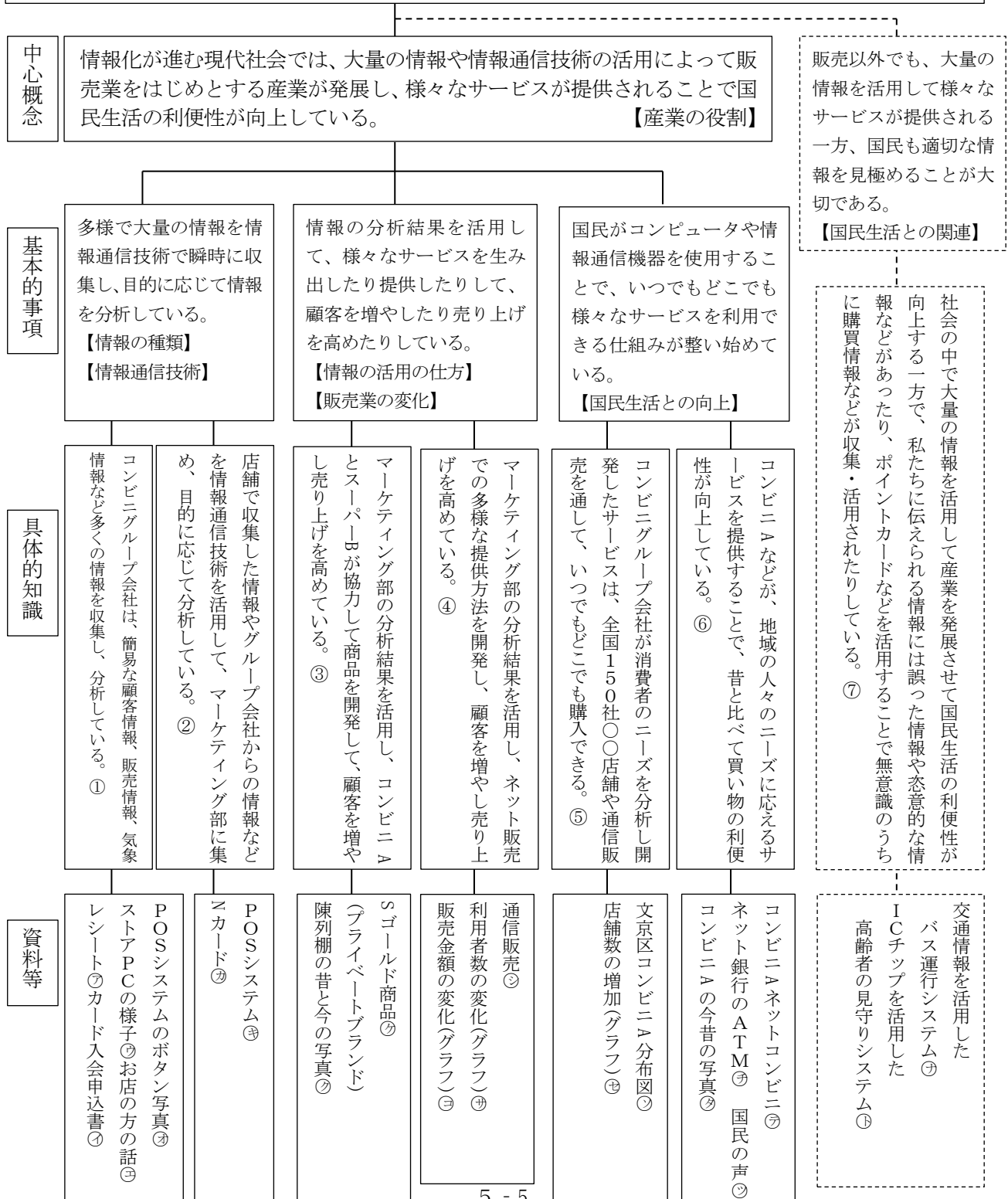
① 社会生活について理解を深め、社会との関わりを考えられる教材の工夫

本小単元扱う「情報や情報技術を活用して発展している産業」の見方・考え方(視点や方法)を位置付けた教材構造図を作成する。

現行学習指導要領

内容(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。

イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり



② 目教材構造図との接続を図って目指す子供像に迫るために「問いの構造」を下段のように想定した。

【本小単元における問いの構造】		【学習指導要領の視点や方法 ()部会の追加の視点 <>部会の追加の方法		
過程	問い	視点・方法	知識	資料
つか	問い 今のコンビニは、昔と比べてどのようなちがいがあ	【販売業の変化】		資料テ
	・ コンビニで売っているものはどうか変わったの		知識⑥	資料チ
	・ コンビニでの買い物の仕方や売り方はどうか	<比較>		資料ツ
む	問い プレミアムゴールドの商品はどうかやって開発	【販売業の変化】	知識⑤	資料キ
	・ どうして高いのに売れているの			
学習問題 コンビニAは、消費者の願いに応えるために、どのように情報を集め、活用しているの				
し	問い コンビニAは、どのような情報をどのように	【情報の種類】	知識①	資料ア・資料イ
	・ どのような方法で集めているのか	【情報通信技術】		資料ク・資料ニ
	・ どのような情報を集めているのか	<分類>		資料オ
べ	問い コンビニAは、集めた情報をどのように活用	【情報の活用の仕方】	知識③	資料ケ
	・ どこで情報を分析しているの	【販売業の変化】		資料ク
	・ 開発された商品はどこで提供されているの	<関連付け>	知識④	資料シ・資料サ
る	問い 国民生活にどのような影響があるの	<店舗の広がり>	知識⑤	
	・ サービスを受けられる店舗はどれくらい	【販売業の変化】		資料ソ
	・ 売り上げや利用者はどれくらい増えたの	<関連付け>		資料セ
ま	問い コンビニエンスストアの情報活用は、私	【産業の役割】 【国民生活の向上】 【関連付け】	中心概念	
め	追究結果 多様で大量の情報や情報通信技術の活用によって、販売業が発展し様々なサービスが提供されることで、国民生活の利便性が向上している。			
い	問い 販売業以外の産業では、情報をどのように	【情報活用の仕方】	知識⑦	資料ナ 資料ト
す	問い これからどのように情報化社会と関わ	【国民生活との関連】		
追究結果 大量の情報を活用して産業が発展するとともに国民生活の利便性が向上する一方で、情報を活用する私				

③ 問題解決の中で、社会的事象の見方・考え方を働かせて、対話的に学び多角的に考える学習活動の工夫

- <つかむ>
- ・ コンビニエンスストアの今と昔を比較し、変化したことへの気づきを出し合い確かめ合う話し合い活動
- <調べる>
- ・ コンビニ A 社が集めている情報を分類して、情報の種類の多さを確かめ合う話し合い活動
- ・ 文京区コンビニ A の分布を地図にドットで整理し全国の店舗数を地図に整理する活動
- ・ コンビニ A の店舗数や売り上げ額を今と昔で比較し、変化について話し合う活動

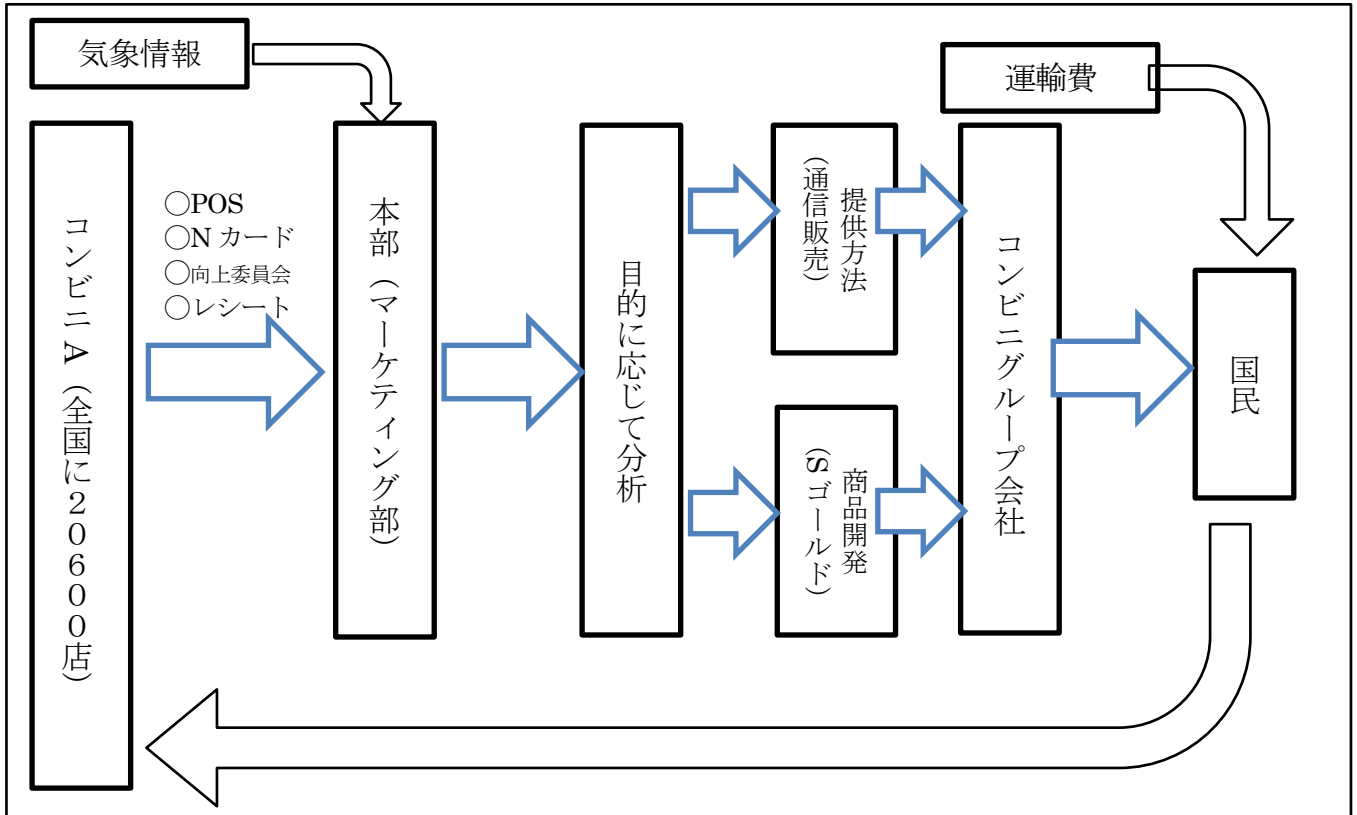
<まとめる>

- ・調べた情報の流れや相互の関係を関連図に整理して分かったことを話し合う活動
- ・コンビニAの情報活用と消費者（国民）としての生活の向上を関連付けて考え話し合う活動

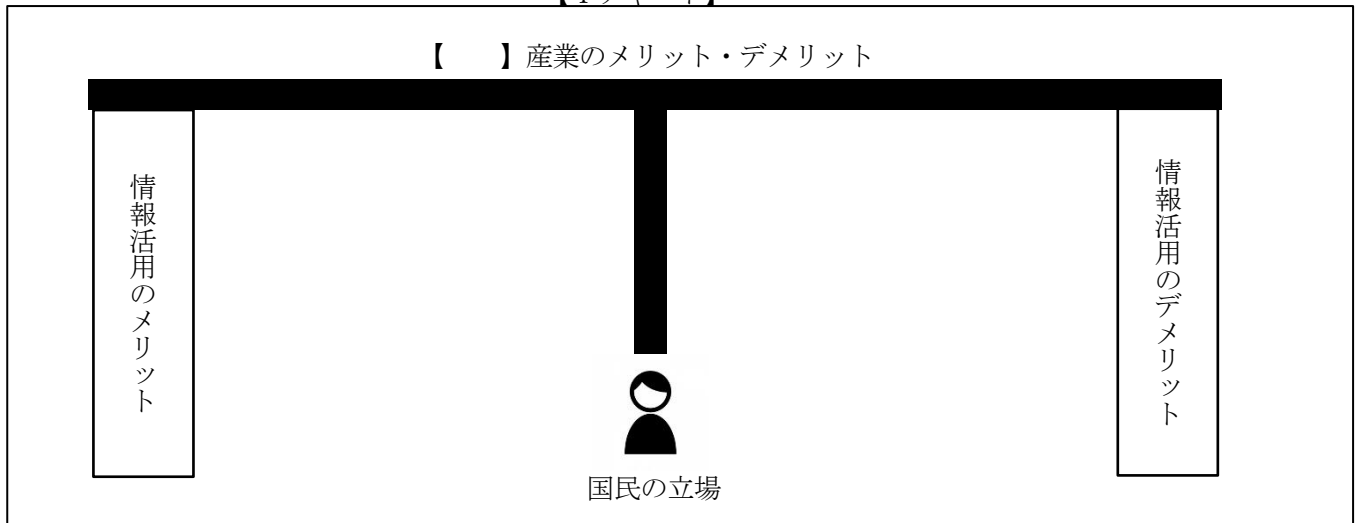
<いかす>

- ・大量の情報を活用して産業を発展させている事例のプラス面とマイナス面をTチャート図に整理する活動
- ・進展する情報社会の中でのこれからの情報活用について考え、意見を交換する活動

【関連図】



【Tチャート】



④ 確かな社会認識をもとに、社会の発展を考える「いかす」場面の設定

本小单元では、まとめる段階までに、販売産業に関わる人々は、大量の情報を活用しながら消費者のニーズに応じて新しい取組を工夫していることが分かる。しかし、販売業以外の運輸・観光・医療等の産業を調べてみると、大量の情報が集まるが故に、自分が活用していきたい情報を正しく選ぶことが難しいことに気付く。

そこで、児童に「情報化が進展する社会の中で、情報をどのように活用していけばよいか。」という問いをもたせ、情報産業と国民の立場から考えさせることが、これからの情報産業の発展と国民生活の向上に大切なことについて、自分と実社会がどのようにつながっていくことがよいかに気付くことと捉え、いかす場面を設定した。

さらに、情報化社会のよさや課題について知り、情報を生かして商品販売やサービスを提供するよさや自分たちの生活との関連について考える時間を設定し、情報社会の課題の新聞記事やサイバー犯罪のグラフについて調べ、個人情報の管理が問題となっていることやネット犯罪も多く起こっていること、便利だからこそ、課題もあることを知り、これからの情報化社会の中で自分が情報をどのように活用していけばよいかについて考える。

5 小単元の指導計画と評価計画 (8時間扱い)

学習過程	ねらい (着目する視点や方法)	○主な学習活動 問 ・予想される児童の反応	教師の指導・支援 (□留意点◎資料◆評価)
つかむ	①コンビニの販売の様子を知り、昔と今を比較することを通して情報を扱う販売業と自分たちの生活との関わりについて学習問題を設定し、予想を考え、学習計画を立てる。 (販売業の変化)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 今のコンビニは、昔と比べてどのようなちがいがあろうか。 </div> ○レシートや写真などから現代のコンビニエンスストアの販売の様子について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・遅い時間でも飲食を買える。 ・ATMでお金を下ろせる。 ・公共料金も支払える。 ○昔と今のコンビニ店舗の様子を比べて、違いや変化について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・昔のコンビニには、ATMや書籍の販売はなかった。 ・買い物の仕方も変わっている。 ・食料は売っている商品が変わっている。 ・コンビニは、ただ商品をお店から、色々なサービスを受けられるお店に変化している。 ○食料品の変化に注目し、Sプレミアムゴールドが値段が高いのに売れていることについての話し合いを通して、疑問に思ったことをもとに学習問題を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・売れない時代でも消費者の情報を活用すれば売れるなんて、どんな情報を集めているのかな。 ・消費者の情報ってどのようなものなのだろう。 ・情報をどのように活用しているのかな。 ・アンケートやインタビューなどを行っているのかな。 ・Sゴールドは、どうやって生まれたのかな。 	◎コンビニのレシート ◎公共料金の領収書 ◎ATMの明細書 ◎今と昔のコンビニの店内の様子の写真 ◎消費者の声 □消費者が求めているニーズが実現されていることに気付かせる。 ◎Sプレミアムゴールドの写真 ◎金のハンバーグの写真 ◎プレミアムハンバーグの写真 ◎金のハンバーグの売り上げの変化 ◎Sゴールド計画 ◎コンビニAの方の話
		コンビニAは、消費者の願いに応えるために、どのように情報を集め、活用しているのだろう。	◎コンビニAの情報システム投資額 (2017年からの投資計画は520億円)
		○コンビニAの情報システムの投資額を知り、学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てる。 (予想) <ul style="list-style-type: none"> ・投資金額が500億円もあるので、パソコンなどの機械を使って情報を集めている。 ・年齢や性別、購入履歴から商品開発しているのではな 	

		<p>いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を生かして商品の開発だけでなく、色々なサービスにお金を使っているのではないか。 <p>〈学習計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者を増やすためにどのような情報を集めているのだろう。 ・集めた情報をどのように活用しているのだろう。 ・情報を活用することでどのような変化があったのだろう。 	<p>◆関心・意欲・態度① (発言)</p>
調べる	<p>② コンビニでは、様々な情報をどこからどのように集めているのかについて理解する。 (情報の種類) (情報通信技術)</p>	<p>コンビニAでは、どのような情報をどのように集めているのだろう。</p> <p>○どのような情報をどこから集めているのか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジからどの商品がいつどれくらい売れたかを集めていると思う。 ・カードから名前・年齢・性別の情報を集めているんじゃないかな。 <p>○どのような情報をどこから集めているのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・POS レジを通して、バーコードを読みとることで買った物の履歴が多く集まっている。年齢・性別は、店員が入力している。 ・N カードから年齢や性別、購入商品・来店頻度を集めている。 <p>○第6次総合情報システムの資料から店舗で得た情報と本部とつながっているのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・POS システムやカードの情報は、本部と結ばれ、つながっている。 ・情報は、様々なことに活かされている。 ・情報収集がシステム化されることによって、お店側もお客側もよいことが起きている。 	<p>◎2枚のレシート</p> <p>◎POS レジの写真</p> <p>◎ボタンの拡大写真</p> <p>◎コンビニAの方の話</p> <p>◎N カード申込書</p> <p>◎N カード写真</p> <p>□ペアでPOS レジとN カード、について調べる役割を変え、それぞれ伝え合う。</p> <p>◎第6次総合情報システム</p> <p>◎コンビニAの方の話</p> <p>◆資料活用① (ノート)</p> <p>◆知識・理解① (ノート)</p>
	<p>③ コンビニでは、様々な情報を収集し、商品開発やサービス向上に情報を役立てていることを理解する。 (情報の活用の仕方) (販売業の変化)</p>	<p>コンビニAでは、集めた情報をどのように活用しているのだろう。</p> <p>○消費者のニーズをもとにどのような商品開発やサービスが開始されたか、予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より美味しいものが食べたい。 ・子育てで忙しいから買い物になかなか行けない。 ・自分の都合で買い物がしたい。 <p>○S プレミアムゴールドの開発やオムニ7の仕組みについて調べる。</p> <p>【S プレミアムゴールドの開発】</p>	<p>◎消費者の声</p> <p>□S プレミアムゴールドの開発と通信販売をペアで分担し、ジグソー学習をする。</p> <p>◎セブンプレミアムゴー</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・価格の安さだけでなく、上質な商品を求めているお客が多いことが分かった。 ・向上委員会を通して、お客のニーズを分析し、何度も味をリニューアルしている。 ○コンビニAの方の話を読み、ビッグデータだけでなく、アンケートやインタビューなどのアナログで調査も行っていることから商品開発について考える。 ・手間もかけて開発しているんだ。 ・一つの商品を開発するためには、データと生の声など多くの情報をもとに開発されているんだ。 ・高いけれどお客からも好評だ。 ・お客の生活もよくなるし、店の売り上げも上がっているから WIN—WIN の関係になっている。 【通信販売】 ・ネットとリアルの融合で新しいサービスだ。 ・自分の都合で買い物ができるから利用者も多いのでは。 ○通信販売の利用者と売り上げの推移や利用者の声について調べる。 ・データ分析などを行うことでお客のニーズに応えるサービスを考えることで、利用者も増え、売り上げにつながっている。 ・お客も生活しやすくなっている。 ・このサービスも情報を活用することによって WINWIN の関係になっている。 ○お互い調べたことについて交流し、まとめる。 ・コンビニAは、情報を活用して、様々なサービスをしている。 	<p>ルドの写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎金のハンバーグの写真 ◎金のハンバーグの売り上げの変化グラフ ◎S ゴールド計画 ◎S プレミアム向上委員会 ◎コンビニグループ会社の方の話 ◎コンビニAの方の話 ◎S プレミアムゴールド利用者の声 □ビッグデータの分析だけではなく、アンケート調査やインタビュー調査といった（アナログ）も含めて、分析されていることも抑える。 ◎通信販売の仕組み ◎通信販売利用者と売り上げの推移 ◎通信販売利用者の声 □売り上げの推移や利用者の声を取り上げることで産業の発展と国民の利便性に気付かせる。 ◆資料活用① ◆知識・理解① （ノート・ワークシート）
<p>④コンビニグループ会社が消費者のニーズを分析して開発したサービスは、様々なところで受けられるようになっていることを理解する。 (販売業の変化)</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国民生活にどのような影響があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンビニAの店舗数について調べる。 ・文京区だけでもこれだけの数があるんだ。 ・20600店舗もあるんだ。 ・沖縄以外の全国に広がっている。 ・すぐ近くに多くある。 ・つまり、これだけ多くの人がこれまで学習したサービスが受けられるんだ。 ○金のハンバーグがスーパーBや百貨店Cで売られていることや通信販売での受け取りがスーパーBや百貨店Cでできることを確かめる。 ・コンビニAだけでなく、違うところでも買えなんてすごい。 ・コンビニだけでなく、より多くのところで利用でき、とても便利だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎文京区にあるコンビニAの分布図 ◎全国のコンビニAの分布図 □空間的な視点を入れることでサービスの広がりについて気付かせる。 ◎利用者の声 ◎販売者の声 □利用者と販売者それぞれの立場から考えることで情報活用の良さに気付かせる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニの商品だけでなく、様々な商品が購入できるなんて。 ○コンビニグループ会社の会社について知る。 ・コンビニAは、あくまでもコンビニグループ会社の一部だったんだ。 ・150社もの会社が集まったの会社だから、より多くの人を利用できる。 ○コンビニグループ会社の新しい取り組みについて知る。 ・これからも多くの情報を活用してどんどん発展していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎スーパーB・百貨店Cの売り場写真 ◎通信販売グループ情報 ◎コンビニグループ会社組織図 ◎コンビニグループ会社分布図 ◎コンビニグループデータラボの仕組み ◆資料活用① ◆知識・理解① (ノート・ワークシート)
<p>⑤これまでの学習をもとに、情報活用における販売業の現状と自分たちの生活との関わりについて関連づけ、自分の考えをまとめる。</p> <p>(産業の役割) (国民生活の向上)</p>	<p>コンビニエンスストアの情報活用は、わたしたちの生活にどのように関わっているのだろう。</p> <p>○これまで調べてきたことを関連図にまとめる。</p> <p>○関連図をもとに、学習問題の結論を文章でまとめる。</p> <p>コンビニグループ会社では、大量の情報や情報通信技術を生かして消費者のニーズに応じていくことで売り上げや利用者を増やしている。また情報活用が進んだことで消費者が場所や時間を選ばずにより便利なサービスを受けられるようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ノート ◆資料活用② (関連図) ◆知識・理解② (ノート)
<p>⑥販売業以外の産業では、どのように情報が活用されているのかについて調べ、様々な産業に情報が活用されていることに気付くことができる。</p> <p>(情報の活用の仕方) (活用の比較)</p>	<p>販売業以外の産業では、情報をどのように活用しているのだろう。</p> <p>○観光業が観光客どのような情報を集めているのかについて予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな食べ物が人気なのか。 ・お客がどのような行動をしているか。 <p>○観光業は、どのような情報の種類を分析して活用しているのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業でもPOSデータの情報を活用している。 ・さまざまな情報を活用しているんだな。 <p>○その他産業では、どのような情報を活用しているのかについて予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療でも多くの情報を使っているのでは。 ・水産業でも情報が使われていたな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎熊本の観光の写真 ◎熊本の観光客数推移 ◎情報種類資料 □次時で情報を活用している産業を各自が調べられるように見通しをもたせる。

<p>まとめる</p>	<p>⑦これまでの学習をもとに情報活用における様々な産業と私たちの生活との関わりについて関連付け、自分の考えをまとめる。 (情報の活用の仕方) (活用の比較)</p>	<p>販売業以外の産業では、情報をどのように活用しているのだろう。</p> <p>○前時の学習をもとに社会の中で大量の情報を利用して産業を発展させていこうとする事例について資料を持ち寄って交流を図る。</p> <p>運輸：交通情報を活用した渋滞解消 医療：臨床データを活用した薬や試料技術の開発 観光：GPSを活用したニーズに応える取り組み</p> <p>○それぞれの事例で大量の情報を利用して産業が発展することのプラス面とマイナス面を発表し合ってTチャートにまとめ、情報活用における様々な産業と私たちの生活との関わりについての考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が活用されることで生活がとても便利になっている。 ・情報活用によって産業も発展している。 ・情報にたよりすぎると危険なこともあるのでは。 <p>様々な産業は、大量の情報や情報通信技術を生かして産業を発展させている。そのことにより、私たちの生活は便利になり生活しやすくなっている。</p>	<p>◎各自調べてきた資料 □情報を活用して観光・運輸・販売・医療の産業で今後の発展を支える事例を各自調べて資料を持ち寄るようにする。</p> <p>◆知識・理解② (Tチャート)</p>
<p>いかす</p>	<p>⑧情報化社会のよさや課題について知り、情報を生かして商品販売やサービスを提供するよさや自分たちの生活との関連について考える。 (国民生活との関連)</p>	<p>これからのどのように情報化社会にかかわっていけばよいのだろう。</p> <p>○情報社会の課題の新聞記事やサイバー犯罪のグラフについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の管理が問題となっている。 ・ネット犯罪も多く起こっている。 ・便利だからこそ、課題もある。 <p>○Nカードの申し込み書にある利用契約書について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの情報は、使われているんだ。 ・どうしよう。 <p>○これからの情報化社会の中で情報をどのように活用していけばよいか話し合い、考えを記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量の情報を利用して産業が発展するとともに国民生活の利便性が向上する一方で、情報を活用する私たちには、適切な情報を見極めていくことが求められている。 	<p>□個人情報漏洩記事 □サイバー犯罪の検挙状況等のグラフ</p> <p>□Nカードの利用契約書(抜粋)</p> <p>◆関心・意欲・態度②(発言) ◆思考・判断・表現②(ノート)</p>

6 本時の学習（2/8時間）

（1）本時のねらい

コンビニAでは、新しい商品の開発やサービスをするために、様々な種類の大量な情報をPOSレジやカードなどの方法を通して、本部と連携しながら集めていることを理解する。

（2）本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	□指導上の留意点 ◎資料 ◆評価（評価方法）
導入	<p>○前時までの振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画で設定した問いが今日のめあてだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> コンビニAでは、どのような情報をどのように情報を集めているのだろう。 </div> <p>○どのような情報をどこから集めているのかについて予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジからどの商品がいつどれくらい売れたかを集めていると思う。 ・カードから名前・年齢・性別の情報を集めているんじゃないかな。 	◎レシート2枚
	<p>○どのような情報をどこから集めているのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・POS レジを通して、バーコードを読みとることで買った物の履歴が多く集まっている。年齢・性別は、店員が入力している。 ・N カードから年齢や性別、購入商品・来店頻度を集めている。 <p>○第6次総合情報システムの資料から店舗で得た情報と本部とつながっているのかについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・POS システムやカードの情報は、本部と結ばれ、つながっている。 ・情報は、様々なことに活かされている。 ・情報収集がシステム化されることによって、お店側もお客様もよいことが起きている。 	◎POS レジの写真 ◎ボタンの拡大写真 ◎N カード申込書 ◎N カード写真 ◎コンビニAの方の話 □ペアでPOS レジとN カード、について調べる役割を変え、それぞれ伝え合う。 ◎第6次総合情報システム □店舗の情報だけでなく、ネットワークで本部とつながっていることに気付かせる。 ◎コンビニAの方の話 ◆資料活用① 知識・理解①
終末	<p>○学んだことに対する振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに多くの情報が収集されているとは思いませんでした。ここまで多くの情報は、S ゴールドをはじめ多くの商品開発など、様々なところで活かされていると思います。 ・販売者の情報収集は、消費者であるわたしたちに何らかの形で返ってくると思います。販売者と利用者の関わりが情報を通してどのようになっているのかが気になります。 	□本時の学習を振り返ることで次時の問いを明確に想起させる。

(3) 板書計画

